



# チバニアンって なんだろう?



誕生から46億年という長い歴史を持つ地球は、いくつもの時代に分けられています。恐竜がいたジュラ紀や白亜紀などは有名ですね。ほとんどの時代はすでに名前が決まっていますが、まだ決まっていない時代もあります。

地球の時代を分けるとき、生物の出現や絶滅など地球規模の大きな出来事を示す化石が使われてきました。最近では地磁気の逆転が起こった時期もあわせて使われています。

千葉県市原市田淵にある地層は、一番新しい地磁気逆転の記録が世界で最もよく残っているため、令和2年1月、時代を分ける境界がよくわかる地層として、世界的に認めされました。

このことにより、今まで名前がなかった約77万4千年前から12万9千年前までの時代がラテン語で「千葉の時代」を意味する「チバニアン」と呼ばれることになりました。日本の地名にちなんだ名前が地質年代につけられることは初めての快挙です。

## 地磁気の逆転ってなんだろう?

方位磁針は常にN極が北を向きます。これは地球自体が大きな磁石のようになっているからです。地球が持つ磁場を地磁気と呼びます。

現在は、北極付近がS極、南極付近がN極になっていますが、地球の長い歴史をみると何度も逆転していることがわかっています。しかし、どうして逆転するかはまだ明らかになっていません。



現在と地磁気の向きが  
逆の時代もあったなんて  
びっくり!



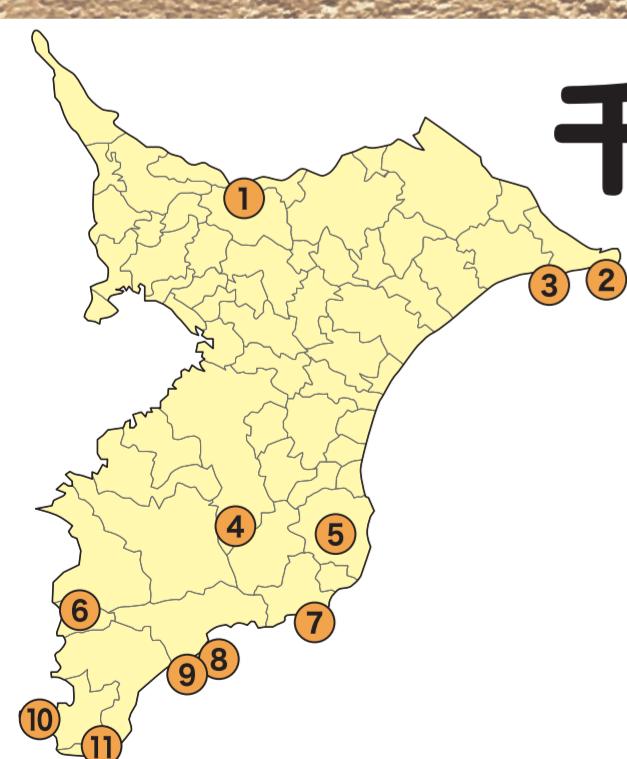
現在とは地磁気の向きが  
逆の時代もあった



方位磁針は  
N極が北を指す



現在とは地磁気の向きが  
逆になる?



## 千葉県には魅力的な地層がいっぱい! 『千葉の地層10選』



木下貝層(印西市)  
きおろしがいそう



犬吠埼の白亜紀浅海堆積物(銚子市)  
いぬぼうさき はくあ きせんかいたいせきぶつ



屏風ヶ浦(旭市・銚子市)  
ひょうぶ が うら



養老川流域田淵の地磁気逆転地層(市原市)  
ようろうがわゆういきたばち ちじ きぎゃくてんちそう



上総丘陵の砂岩泥岩互層(いすみ市)  
かずさきゅうりょう さがんでいかんご そう



鋸山の「房州石」(富津市)  
のこぎりやま ほうしゅうせき



勝浦鶴原の黒滙不整合(勝浦市)  
かつうら こうはら くろたき ふ せいこう



鴨川松島(鴨川市)  
かもがわまつしま



保田層群のカオス層(鴨川市)  
ほた そうぐん そう



沼サンゴ層(館山市)  
ぬま さんごそう



白浜の海底地すべり堆積層(南房總市)  
しらはま かいていじ たいせきそう